

九州北部豪雨災害

九州北部豪雨災害の支援活動を開始しました。

平成29年7月九州北部豪雨では、お亡くなりになった方々への哀悼の意を表しますとともに、被災されて不自由な生活を強いられている皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、現地で支援活動に取り組んでいらっしゃる皆さまに深く敬服します。

7月17日、熊本での支援活動を終え、豪雨災害から10日ほど経った朝倉市に入りました。宿泊した甘木地区はさほど被害がなかったとのことでしたが、地元の方の車で被害の大きかった把木地区に向かいました。道路沿いの水路には水車があり風光明媚な地であったことが想像されましたが、上流からの流木に無惨な姿となっていました。避難所となっている自治会館に行きました。避難所設立から関わっておられる外部団体の方から「ここでは住民の繋がりがもともと強く主体的に動いている。子どもたちのダメージも少ないように思う」とのことでしたが、廊下の隅で話している私達にまわりついてきた高学年男子は、少しハイになっているように思われました。ここでは東峰村の小学校教諭と合流しました。豪雨で動けず2日間学校で子どもたちと過ごしたという彼女は、涙を浮かべながら当時の様子を話してくれました。また朝倉市子ども未来課の方からは保育所も再会していることなどを聞きましたが、保育士さんたちも大変だろうと推察されました。その後、不明者を捜索する自衛隊、泥で埋もれた田んぼや果樹園、ビニールハウス、上流の我が家に戻れないと嘆いている方、それらの様子に「途方に暮れる」という言葉がしきりに思い起こされました。

7月末、先日案内してくれた地元の方(市会議員)に電話で現状を聞きました。8月1日から閉院した産院を借り受け、私設の災害支援センターを立ち上げるとのことでした。2階は母子が安心して(次頁につづく)



- c o n t e n t s -

- P 1 九州北部豪雨災害
- P 2 九州北部豪雨災害 / V I S I O N 117
- P 3 中越沖地震 / 近畿ろうきん寄付贈呈式 / 佐用町訪問
- P 4 ~ 5 NVNAD通常総会報告
- P 6 子ども防災キャンプ / KSN 千刈キャンプ / ふれぼの縁日
- P 7 佐用高瀬舟祭り / Nうごき
- P 8 Nごよみ / 会員・寄付者・募金者のみなさま / 編集後記

避難できる場所に、1階は母子相談や人権相談など各週相談と子どもの遊び場として解放するとのこと。「今」必要だから公的な支援を待ってられないと女性たちで持ち寄って立ち上げたとのことでした。被災地区ではボランティアも数多く活躍、炎天下に熱中症も心配されますが、本当に有り難いと仰っていました。また、物資は結構届いていますとのこと、やはりこれからのためにも「募金」が必要なのではないでしょうか。メディアにもあまり出ていない現状から、ぜひ支援を考えなければと思いました。
(NVNAD理事 米山清美)

平成29年度7月九州北部豪雨の支援のため、7月21日(金)から22日(土)の日程で、主な被災地である大分県日田市・福岡県東峰村・福岡県朝倉市に行ってきました。21日は、日田市ボランティアセンター・日田市ボランティアセンター大鶴サテライト・東峰村宝珠山サテライト・朝倉市ボランティアセンターを周り、担当者の方々と今後の支援の方向性について話し合いをおこないました。翌22日は、大きな被害を受けた日田市夜明にここ保育園に行き、園長先生と今後の支援についてできることを話し合いました。その後、特に被害が大きかった朝倉市杷木地区の様子を視察に行きました。いまだに重機の入れないような地域も多く、復旧までまだまだ時間がかかりそうでした。今後の支援の方向性について、被災された方のことを一番に考えていきたいと思っています。(事務局)

つきましては、これまでご支援をいただいていたみなさまに、いまいちど救援活動支援金のご寄付をお願いする次第です。なお、日本災害救援ボランティアネットワークは認定NPO(兵庫県第1号)であり、寄付には税制上の優遇措置が適用されます。

【熊本大地震募金受付口座】ご協力よろしくお願ひいたします。

* ゆうちょ銀行(郵便振替)

口座番号 00900-5-29560

名義 NVNAD 国内支援

通信欄に「熊本地震」とご記入下さい。

* 三井住友銀行

西宮支店普通 7022161

口名義 NVNAD 国内支援口

なお、三井住友銀行に振り込んでくださる方は、カタカナの振込名しか把握できませんので、税制優遇を希望されます方は、ご一報くださるようお願い申し上げます。

お問い合わせ：日本災害救援ボランティアネットワーク(NVNAD) 電話：0798-34-9011

Vision 117

中越沖地震から10年。7月29日、新潟県刈羽村で記念行事が開かれ、参加させていただきました。シンポジウムでは、刈羽村職員からの報告に続き、当時、刈羽村に駆けつけた名古屋、地元中越の団体、NVNAD、そして、刈羽から救援に向かった東日本大震災の被災地岩手県野田村の皆さんから、この10年を振り返る話をさせていただきました。皆さん共通に指摘されたことで印象深かったのは、「当時刈羽村が外部からのボランティア(団体)を受け入れて被災された住民と一緒に復旧活動に精を出す仕組みをしっかりと作られたこと」、そして、「刈羽がひと段落した時点で、今度は、刈羽村社協が住民の皆さんに呼びかけて、東日本大震災の避難者を受け入れ、さらに、遠く岩手県や福島県(さらには、昨年は熊本)に救援に向かわれたこと」に敬意を表す

という発言でした。こうした活動の背後には、ボランティアをボランティアとして見るのではなく、救援に来てくださった人、救援に向かう人として見る姿勢があったのではないかと思います。最近では、ともすれば、ボランティアの受け入れ、ボランティアのコーディネート、ボランティアのマッチングなど、ボランティアというカテゴリーで話す(だけ)という姿勢が随所で見られるように思います。また、ボランティアの側も、被災者の支援、被災者のニーズ、被災者のくらしという風に、被災者というカテゴリーで判断してしまう傾向もあるようです。刈羽村での懐かしい皆さんとの再会は、カテゴリーではなく、ひとりひとりの人間として関わり合うことの大切さを改めて感じさせていただく機会となりました。現在、NVNADでは、九州北部豪雨の被災地でも活動を始めています。ボランティアと被災者ではなく、ひとりひとりの人間としての関わりができていくかを改めて見直しながら、現地の方々との関係を丁寧に紡いでいきたいと思っています。
(理事長 渥美 公秀)

中越沖地震

2007年7月16日に発生した中越沖地震から10年。新潟県刈羽村において開催された10周年事業にお招きいただきました。シンポジウムでは『中越沖地震から10年、未来に向けて...』というタイトルのもと、刈羽村に続き、当時刈羽村で支援活動を行った団体や個人による発表があり、当時の対応への振り返り、中越沖地震以降に発生した震災への対応に関する報告、そして“これから”について意見交換が行われました。

刈羽の方々とは、東日本大震災および熊本地震の被災地において、一緒に活動してまいりました。被災を体験した方が、次の被災地に赴き活動する姿は、現在被災されている方にとっての未来であり希望であると感じる場面に多数遭遇してきました。刈羽は、我々が言うところの“被災地のリレー”をまさに実践しておられます。

発災直後に支援活動にうかがってから10年、刈羽の皆様との繋がりが当時以上に幅広くなっていることを実感させていただいた今回の訪問でした。



近畿ろうきん「社会貢献預金・すまいる」寄付金贈呈式

5月24日（水）大阪肥後橋にある近畿ろうきん本社ビルにて、「社会貢献預金・すまいる」の2017年度寄付金の贈呈式がありました。この「社会貢献預金・すまいる」は、『意思あるお金の流れをつくろう!!』というキャッチフレーズで、預金残高の0.1%を、4つの分野（災害復興支援、エコ推進、子どもたちの未来応援、国際協力）のNPO・市民活動団体に寄付するという近畿ろうきんオリジナルの定期預金制度です。より良い社会づくりに向けた「助け合い」の心をつなぐことを目的に5年前から実施されており、今年度は当団体も寄付先として選んでいただきました。近畿ろうきん様には、感謝申し上げますと共に、預金者の皆様の想いを忘れず、災害救援活動ならびに日頃の防災活動に有効に活用させていただきたいと思っております。



佐用町訪問

5月20日（土）～21日（日）兵庫県佐用町久崎にチャコネット（佐用町学生支援ネットワーク）のメンバーと行ってきました。1日目は、お借りしているチャコ畑での草引きや玉ねぎの収穫作業、また、菖蒲園に設置された石碑周辺の清掃やお花の植えつけ作業のお手伝いなどをしました。2日目は、小学校で開催される作業所のお祭りの手伝いをするチームと、いつものコミュニティカフェのチームに分かれて活動を行いました。午後からのカフェにも顔なじみの方がたくさん来てくださり、今回の活動でも地元の皆さんに色々とお世話になりました。6月以降もまた交流活動を続けていければと思っています。



第19回NVNAD通常総会報告

第19回NVNAD通常総会は、2017年6月24日(土)西宮市において開催、提案された議案は原案通り承認され無事終了しました。

・第18期(2016年度)事業報告(2016.4.1~2017.3.31)

第18期(2016年度)を振り返ってみると、災害救援においては、4月に発生した熊本地震に対して、まず4月15日~16日に先遣隊として現地入りをした。益城町を中心に、大阪大学や熊本大学、九州保健福祉大学の教員や学生などと連携しながら当初は被害状況の把握や避難所の運営補助を行い、5月になって避難所である総合体育館などで足湯や茶話会、あるいは、子どもを対象とした支援活動を展開した。途中、「なんでんかんでんボラセン」という名称で、益城町災害ボランティアセンターにあがって来ない被災者の細かなニーズに対応する試みも行った。仮設住宅が設置された7月末以降は安永仮設の集会所で、おにぎり交流会や茶話会、足湯や子ども縁日などの交流プログラムを実施した。

2009年8月水害の被災地(佐用町久崎地区)では、チャコネット(佐用町学生支援ネットワーク)と共同でコミュニティカフェや竹炭焼きなどの活動を継続実施した。また、2011年3月の東日本大震災関連では、岩手県野田村から食材を取り寄せ関西で野田村ファンクラブが中心となって料理対決を行ったり、福島県郡山市では地元のNPO法人ハートネットふくしまが実施している炊き出しやお茶会の支援活動をサポートした。その他にも地元西宮においては、県外避難者を対象にした活動をKSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体)主催で開催し、交流イベント4回、学習支援イベント4回の合計8回実施した。そして、2014年8月の土砂災害の被災地(丹波市前山地区)では、桜復興まつりの手伝いなども行った。

平常時の活動においては、活動の3本柱である、『防災まちづくり活動』としては、子ども防災クラブや親子でわがまち探検隊をはじめ、西宮市の受託事業として上甲子園地区、また、尼崎市社会福祉協議会の受託事業として武庫地区でそれぞれ地域防災マップづくり事業を実施した。『講演・講座活動』としては、津市市民防災大学や伊勢市社会福祉協議会等からの継続した講座の依頼に加え、大東市社会福祉協議会や門真市社会福祉協議会等、大阪方面から新規の講座依頼も多数あった。『ネットワーク活動』としては、第21回チャリティカレンダー市を開催すると共に、ひょうご市民活動協議会(愛称:ひょうごん)や、兵庫県災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議などを通じて、兵庫県内の他団体とのつながりを広げさせていただいた。その他、昨年度に続き、南海トラフ大地震の津波災害を想定した防災ふれあいウォークを武庫川女子大学にご協力いただき実施した。

(活動事業実績)

1. 災害に関する講演、講座事業 34回
2. 防災まちづくり事業(ワークショップ事業) 18回
3. ネットワーク事業 5回
4. 災害救援活動事業 44回
5. その他の活動 11回

・第18期(2016年度)決算並びに第19期予算

別表参照

・第19期(2017年度)事業計画(2017.4.1~2018.3.31)

災害支援関連では、東日本大震災をはじめ、熊本地震、兵庫県佐用町、兵庫県丹波市、での活動を継続していきたいと考えている。岩手県野田村については、チーム北リアス(青森県八戸高等専門学校、青森県弘前大学、など)のネットワーク団体と情報交換しながら、これまでの支援の形にとらわれず、変化する被災地のニーズに寄り添った形での支援の継続を考えていきたいと思っている。また、福島県郡山市については、引き続きNPO法人ハートネットふくしまの活動を間接的に支援したいと思っている。地元西宮の県外避難者の支援については、KSN(関西学院大学・災害復興制度研究所、西宮市社会福祉協議会、NVNADが主体)主催での交流イベントや学習・遊び支援活動の継続を行いたい。ただし、新たに大規模な災害が発生した場合は、近畿ろうきんの社会貢献預金「すまいる」制度を活用して活動可能な範囲で迅速な対応をしていきたい。

平常時の活動については、防災まちづくり活動、講座・講演活動、ネットワーク活動の3本柱の活動を中心に、加えて今後の災害に備えて、地元西宮で「防災ウォーキングイベント」や「災害ボランティア養成講座」などの事業を実施したいと考えている。また、「休眠預金」の活用が2年後からスタートすることを踏まえて、新規事業の検討と財源の確保に積極的に働きかけると同時に、将来を担ってもらえる若手人材の発掘と養成にも取り組んでいきたいと思っている。

・災害救援の活動

- 1. 救援活動
 - ・ 東日本大震災の支援活動
 - 活動内容： 被災地の支援活動（岩手県野田村、福島県郡山市、など）
 - 西宮市内での避難者支援活動（KSNプロジェクト）
 - ・ 兵庫県佐用町水害の支援活動
 - ・ 兵庫県丹波市土砂災害の支援活動
 - ・ 熊本地震の支援活動
 - ・ 次の災害に備えるための防災(広報・啓発等)の活動
 - 1. 地域防災活動
 - ・ 子ども防災クラブ
 - ・ 子ども森林体験ツアー など
 - 2. 防災意識高揚のための取り込み
 - (1) 災害や防災に関する講座・研修等の受託事業
 - (2) 講演等の受託事業
 - 3. ネットワークの拡充
 - (1) 全国災害救援ネットワーク(Jネット)総会
 - (2) ひょうご市民活動協議会(愛称:ひょうごん)
 - (3) 災害救援ボランティア活動支援関係団体連絡会議(兵庫県)
 - (4) チャリティカレンダー市
 - 4. 新規事業の企画(案)・・収益(事業、会費、寄付など)を高めるために
 - (1) 防災ウォーキングイベントの企画(テーマ「防災」と「健康」)
 - (2) 八百屋プロジェクト(被災地のお米や野菜を西宮でPR販売)
 - (3) 若手育成プロジェクト(次世代のリーダー育成)
 - (4) 財源確保のための新規事業企画(休眠預金や基金づくりなどの学習会)
 - (5) 役員・職員合同合宿企画(事業の検討と交流)
 - (6) 災害時の安全靴プロジェクト(アドバイザー契約など)
 - 5. 今年度末の災害救援準備金残高 500千円
 - (災害救援準備金の取り扱い細則)
 - (1) 国内外で災害が発生し、緊急出動のための費用は、理事の承認を受け引当貯金を取崩し、次回総会で報告すること。
- (報告) 2016年4月14 日熊本地震緊急出動費用 148,562円、引当貯金取崩しました。

(別表)

活動計算書(第18期決算及び第19期予算)

「一般会計・特別会計(災害救援)」

(単位:円)

科目	第18期予算	第18期決算	第19期予算
・ 経常収益			
1. 受取会費	1,085,000	864,500	1,050,000
2. 受取寄付金	3,180,000	6,458,760	3,300,000
3. 受取助成金	1,400,000	2,000,000	1,400,000
4. 事業収益	5,419,000	5,370,659	5,210,000
5. その他収益	9,000	715	1,000
経常収益計	11,093,000	14,694,634	10,961,000
・ 経常費用			
1. 事業費	17,154,620	16,764,754	16,847,559
2. 管理費	820,700	742,103	817,100
経常費用計	17,975,320	17,506,857	17,664,659
税引前当期正味財産増減額	-6,882,320	-2,812,223	-6,703,659
法人税、住民税及び事業税	82,000	82,000	82,000
当期正味財産増減額	-6,964,320	-2,894,223	-6,785,659
前期繰越正味財産額	45,617,626	45,617,626	42,723,403
次期繰越正味財産合計	38,653,306	42,723,403	35,937,744



子ども防災クラブ

7月8日(土)高木小学校にて、今年度の「子ども防災クラブ(Dクラブ)」がスタートしました。全員で自己紹介をしたあと、1年間の活動や8月に実施するキャンプの説明などを行い、子ども達・保護者・大学生リーダー全員参加による『名前ピンゴゲーム』で交流を深めました。これからの1年間、楽しみながら防災のことをたくさん学んでほしいと思います。



KSN交流会

7月25日(火)KSN(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)の交流会を開催しました。毎年恒例となりました、三田市にある関西学院大学の千刈キャンプ場に西宮から貸切バスで行き、ザリガニ釣りやカレーづくり、ペットボトルを使った風鈴づくりなどを行いました。参加者は西宮や近隣地域に、東日本震災で県外避難されている親子が参加してくれました。厳しい暑さではありましたが、大学生リーダーと一緒に屋外で楽しい夏休みのひと時を過ごしていただけたのではないかと思います。



ふれぼの縁日

7月28日(金)事務所近くの『ふれぼの』にて、西宮市社会福祉協議会主催の縁日が行われ、当団体も被災地の特産品を販売させていただきました。午後4時からの開始前から人が集まりはじめ、会場内はあっという間に人だかりができました。熊本県益城町からは仮設の人たちによる手作りブローチ、新潟県塩谷集落からは新鮮な野菜、岩手県野田村からは肉厚の椎茸と塩と塩蔵わかめ、兵庫県佐用町からはじゃがいもと玉ねぎ、それぞれが人気のコーナーとなりました。関西学院大学の学生さんが販売を手伝ってくれ、冷やしきゅうりの塩漬けなど急ぎょ特設売場も設け、海産物と野菜類はありがたいことに完売となりました。障がいを持つ方や施設のご近所の方とふれあう良い機会となり、被災地の特産品もPRできました。また来年も参加できればと思います。



7月29日(土)~30日(日)1泊2日で、チャコネットの学生さんたちと兵庫県佐用町久崎を訪問してきました。土曜日は、恒例となりました「高瀬舟まつり」という地元の夏祭りが開催され、昼間はチチコ(ハゼの仲間)釣りや高瀬舟体乗船などを体験させていただき、夕方からは夜店のお手伝いなどをさせていただきました。日曜日は高瀬舟まつりの後片付けやチャコ畑での草抜き作業、また昼からはコミュニティカフェも開催しました。また、この期間「ひまわり祭り」が佐用町内で開催されていて、チャコネットの学生メンバーは、そちらのお手伝いにもいって来ていました。今回は卒業生もたくさん駆けつけてくれ、卒業しても佐用町久崎を第2の故郷のように思ってくれているのかなと、ちょっとうれしく感じました。この8月9日で水害から丸8年が経過しました。いつまでも水害当時のことを忘れず、これからも地元の皆さんとの交流を続けていければと思っています。



高瀬舟まつり

Nうごき

NVNADの活動をお知らせするコーナーです。

- | | | |
|----|--------|---------------------------|
| 5月 | 9日 | 災害ボランティアセンター会議(西宮市) |
| | 15日 | 通常理事会(西宮市) |
| | 17日 | ニュースVol.111発行 |
| | 20~21日 | 佐用町訪問(兵庫県) |
| | 24日 | 近畿ろうきん会合(大阪市) |
| | 27日 | NVNAD会計監査(西宮市) |
| 6月 | 1日 | ひょうごん運営会議(神戸市) |
| | 3日 | 岬町訪問(大阪府) |
| | 13日 | 広田コミュニティ講演会(西宮市) |
| | 15日 | ふれぼの運営委員会(西宮市) |
| | 24日 | NVNAD通常総会(西宮市) |
| | 25日 | KSN学習会(西宮市) |
| | 30日 | ひょうごん総会(神戸市) |
| 7月 | 1日 | NVNAD研修会 |
| | 6日 | JICA関西講演(神戸市) |
| | 7日 | 甲子園短期大学講演(西宮市) |
| | 8日 | 第1回子ども防災クラブ(西宮市) |
| | | 敦賀市社会福祉協議会講演(福井県) |
| | 13日 | 神戸女学院大学講演(西宮市) |
| | 14~16日 | 熊本訪問(熊本県益城町など) |
| | 17日 | 九州北部豪雨先遣隊(福岡県朝倉市) |
| | 21~22日 | 九州北部豪雨先遣隊(福岡県・大分県) |
| | 22日 | 市民交流センター講座(西宮市) |
| | | 災害ボランティア入門講座(兵庫県丹波市) |
| | 24日 | 防災研究会(神戸市) |
| | 25日 | KSNプロジェクト「千刈キャンプ」(兵庫県三田市) |
| | 28日 | ふれぼの縁日(西宮市) |
| | 29日 | 中越沖地震10周年事業(新潟県刈羽村) |
| | | 佐用町「高瀬舟まつり」(兵庫県) |



Nごよみ

今後の予定・講演などのスケジュール

8月	2～3日	防災チャレンジキャンプ（兵庫県佐用町）
	4日	災害マニュアル勉強会（大阪府吹田市）
	5日	NVNAD研修会（西宮市）
	8日	災害ボランティアセンター会議（西宮市）
	9日	州豪雨活動報告会（神戸市）
	17日	ニュースVol.112発行
9月	22日	KSN学習会（西宮市）
	7日	前山小学校防災授業（兵庫県丹波市）
	10日	京都ZERワイズメンズクラブDIG（京都市）
10月	14日	常総市水害報告会（西宮市）
	7日	災害ボランティア養成講座1日目（西宮市）
	14日	災害ボランティア養成講座2日目（西宮市）
	15日	津市民防災大学（三重県）
	21日	第2回子ども防災クラブ（西宮市）
	28～29日	子ども防災キャンプ（大阪府田尻町）



～ 会員・寄付者・募金者のみなさま ～

会員のみなさま（2017年5月1日～2017年7月31日）

個人正会員：「継続」米山大吾、奥田和子、萩野茂樹、堀川ふじ子、平川りつ子、西川達夫、花岡豊

個人賛助会員：「新規」三池好子、加藤敬蔵

個人賛助会員：「継続」塚野理恵、武田育子

法人正会員：「継続」株式会社関西技術コンサルタント

寄付者のみなさま（2017年5月1日～2017年7月31日）

「一般」：近畿ろうきん社会貢献預金「すまいる」、NPO寄付システム契約者の皆様、ソフトバンクがさして募金（寄付者）の皆様、深山操江、掛水すみえ、田中和子、ヒラオカフサオ

募金者のみなさま（2017年5月1日～2017年7月31日）

「東日本大震災」グッドスナカヤマヨシ

「平成28年熊本地震」有限会社パルテール、エルベラン

「九州北部豪雨災害」タナカクニノリ、フジワラ、谷本馨、福岡良樹、松田一人、福田房子、平沢美智子、掛水すみえ、カドカワカズコ、星野典子、加藤敬蔵、板東由佳恵、河野昌弘、久斗重民、増谷庸子

ご協力いただいたみなさま

株式会社高山堂

（順不同、敬称略）

ご支援、ご協力ありがとうございました。

尚、振込み頂いた方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。

編集後記

今年は台風がすでにたくさん発生しています。しかし、これから10月にかけてが台風の影響が1番危険される時期を迎えます。自分のまわりでの危険箇所や避難場所の確認、それと避難のタイミングなどを、一度考えてみてください。今号はネット印刷を使用しました。カラーにもなり、単価も下がりました。皆様の評判がよろしければこのまま続けていきたいと思っています。（H・T）

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク〔NVNAD〕

〒662-0854 兵庫県西宮市櫛塚町2番20号 西宮商工会館南館 TEL0798(34)9011 FAX0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：渥美公秀 編集人：伴美代子